

便所を改造して

板橋 亀治

農家の住宅で、一番原始的な姿で放任されているのは、便所ではないかと思われ。第一、位置が玄関の通り筋に設けられているため、その家に入るとする人は、否応なしに強烈な臭気に見舞われ、その上設備が不完全で掃除も怠りがちだから、見た目も甚だ美しくない。夏季ともなれば、それが一層度を増すために、慣れぬ者には息のつまりような苦痛感を伴うのであります。

拙宅も御多聞にもれず何度か小改造をしたけれど、抜本的なものでないだけに何とかせねば……と念頭から離れたことはなかつた。けれど、便所の工事は坪数の割合に金と時間がかかるため、不意ながら踏み切れないで十数年を過ぎたが、今度は浪人の有難さ、隙が出来たので昨夏、多年の宿望を実行に移し、十月までかゝつて漸く完了したので、今後改造を志しておられる皆様の御参考にもなつたらと要点を書いてみた次第です。

(一) 用便にもくみ取りにも便利な位置。
太陽の直射光線を受けにくいよう住宅の比例で、内玄関から三尺の板敷き廊下(長さ二間)を通路とした。これが従来のように外玄関である、夜の戸締りも悪いし、履物を穿いて高い土台を往復に上つたり下つたりで、老人や子供には、なか／＼容易でない許りでなく、酷寒の季節にはついでなく、風邪の原因にもなり易い点等を家族会議で説明して、最後決定をした。

(二) 衛生的であること。
廻虫や、十二指腸虫が農村人口の二十五%もあるといわれているので、従来の一槽式を、保健所が奨励している三槽式に改造することにしました。設計図は保健所に参考資料があるから現場にしっかりと合意するように考案した方がよい。

三槽式は、一槽から三槽のくみとり送いくの三週間以上経過するから、寄生虫や有害菌は完全に死滅するし、肥料は分解して水のようになり、香も弱つて取り扱ひにも極めて便利である。但し溜の構造上、夏季の臭い上がる心配があるから、小便の流入口と、きんかくしのはめこみ穴には粗返しをつけることを忘れぬようにせねばならぬ。

(三) 経費
溜の大きさにもよるが、肥料を腐敗させる地熱利のため、深さは一米四〇(四尺五寸)は掘り下げ、横一米四〇、縦二米(六尺余)にするので、材料はセメント十五袋、外に砂ガラス鉄線に工賃を含めて二万円。建物一坪程度なら、木材、亜丹板、工賃を合計して一万五千円見たらよいでしょう。

昭和35年度予算

健全財政の堅持

清津川総合開発の促進

高橋 村長

三十五年度予算村議会は三月十一日三日間の会期をもつて招集され、一般会計及び特別会計(別掲)予算、三十四年度追加更正予算、各種条例の制定改正外二十六件の請願陳情を決定閉会した。

村長は三十五年度予算の提案にあたり次のような所信を表明し、村民の理解と協力を求めた。

昭和三十五年度予算を提案するにあたり、編成の方針と、当面する諸問題に対処する所信の一端を明らかにしたいと思います。

中里村も誕生満五十年を経過し、ようやく行政的基盤が確立して参りました。加えて村財政も除々に進展を辿り、歴年黒字繰越の健全財政で参つて居るところで、これは一重に村民各位の御協力の賜と深く感謝いたしておる次第であります。

従つて三十五年度予算も従来の実績を堅実に伸長することを基本的考えとし、重点目的を何れにおき、如何に効率的に編成するか、最も腐心いたしたところであります。

総額六千七百九十万円は現段階における収入額の満足のものと、均衡止むをえず村民福祉のため、村産業増進のため、その他なく

り扱ひにも極めて便利である。但し溜の構造上、夏季の臭い上がる心配があるから、小便の流入口と、きんかくしのはめこみ穴には粗返しをつけることを忘れぬようにせねばならぬ。

(四) その他
衛生的で感じをよくするために蛍光灯をつけるとか床をタイル張りにするとかかければ際限がないが、セメント工事はやりなおしが困難だから、他家の改良便所をよく研究して、必ず何度か三槽式を造つた経験者に依頼することを忘れてはならない。

尚便所の戸は、余程狭のよい家庭でない限り、開放され勝ちだから、スプリング付ドア式(板戸)にして、押して離せば後が締まるようにするとよい。



桂の大杉 県の天然記念物に指定さる

桂の大杉が県の天然記念物に指定されることになった。

県文化財調査審議委員会では、三十四年度県指定文化財として桂の大杉は九件をこのたび指定を認め、大杉は桂部落の二社境内の裏側の急斜面にそびえ立ち、昔から桂の大杉と呼ばれ有名であつたもので、周囲九メートル十センチ、高さ約十五メートルという巨木、樹令はおよそ八百年ぐらゐと推定され、村人からは神木として大切にされてきたが、語り伝えによれば、親鸞上人が越後に流され、許されて京都へ帰る途路植えたものといわれ、大杉の近くにはか

てはならない経費をもぎりつめて重点中の重点にまじめあげた数字で、全く緊張予算と云つてはばからぬものであります。

財政運営の点においてはつとめて依存財源(国県費)の導入をはかる考えで、本予算額の六〇%がこれら財源によつてなされることを見ても明らかかと考えてあります。

なお又村民税の引下げをはかると共に、村外義務者に対しては、従来の不均一を改め、均等税率を断行する考えであります。

又各種補助事業に伴う国庫の補助金の獲得や、その事業効果に対する村財政需要額に比例する地方交付税の増額等、出来る限りの努力と研究を傾注して、財政の健全な増強を図つていく所存であります。

才出におきましては、行政の効果的運営をはかるため、機構の改革を行なうと共に

◎教育施設の整備充実
◎治安維持
◎産業の振興

と併せ、合理的改革を除々に推し進め、専ら村費を有効に執行する方針であり、更に地方産業道路の開発促進による村内経済発展

農業教育の振興!

ラジオで農事放送

受講者を募集中

農業教育の振興は、今年度の重点施策として、青少年を対象に農村教育の振興に力を注ぐことになりましたが、その事業として、県教育庁、NHK等と協力し、四月からラジオによる農業技術の定期放送を実施し、青少年を主体に一般農家の皆さんからもこの放送を聴いてもらつて、農業技術の普及と農家の全般的な技術水準を高め、農業生産の発展を図らうというもので、この事業の推進について、各市町村に呼びかけています。

これに対し中里村でも、去る二月、農業教育振興協議会を結成して、積極的に推進しようとして、農家組合、定高校、中学校、青年会を

苦しさを生ずると思われますが、このときに備えた積立金の執行により必ずや各位の御期待に添え得られべく努めていく決心であります。

ここに所信の一端を述べ各位の一段の理解と協力を切望して止みません。

業高校ぐらゐです。

指導の方法

1. ラジオによる個人研修 テキストを用いて、週三回(月、火、水)NHK第二放送で、午前六時三十分から十五分間づつ定期的に放送を行ないます。(学科)
2. 現地集合研修 毎月一回、市町村単位で適当な場所に集まつて貰つて、展示圃や研修田を中心に農業改良普及員が指導します。(現地指導)
3. プロック別集合研修 年間十日(十回)ぐらゐ農業科のある高校を会場(この辺は十日町高校)に、実験実習を中心とした指導を専任技術員、高校職員が行ないます。

実施期間
四月(第一月曜日)から翌年三月までの一年間です。

なお、中里村農業教育振興協議会(事務局は役場産業経済係に置く)では、村産業発展のためには農業振興に期待するところが大きく、したがつて将来農業の経営主になる青少年の人たちからは、是非みんなが受講されるよう望んでいます。(係)

俳句

日俳中里支部

秋陽 露 丘
月いたき深雪の中に村は死す
バラソルに春雪「恋」を授函す 同人
父の教養直に過ぎて成人す 蘇舟
カンジキをゆすりて此の地去りにけり 同人
覚めやらぬ雪崩跡なる露の

清流
とう
終電車生き抜く人妻背の荷物 哲仙
雪月夜瑞々しき人の恋…… 同人
春近し貧家の灯交り合ふ 紫紅
病室を出て寒月を呑み下す 同人
廊静か湯気に紅梅らんまん 桂仙
と 初孫に炬中あくびを失ひり 一声
冬蠅に五十路の肌を恋われけり

【写真は桂の大杉】

三十五年 予算の概要説明

三十五年度予算は一般会計も重点中の重点にまとめ計六千七百九十万円、特別会計事業勘定(国保)一千五百九十九万四千六百円、施設勘定(診療所)二百八十七万七千円で、三十四年度当初予算にくらべ、一般会計は、一千六百九十八万八千円、特別会計事業勘定で七十二万三千円、施設勘定で四十万円と、それぞれ増加となった。

三十五年度予算は、一口に言つて全く文字通りの緊縮予算で負担補助金は軒並削減し重点的に編成されていること、これは村長等本年と大差なく、地方交

特別会計 中里村国民健康保険 (単位円)

事業		勘定	
入	出	入	出
5,873,000	1,109,820	1,109,820	1,109,820
455,000	128,000	128,000	128,000
3,200	717,720	717,720	717,720
7,000	51,000	51,000	51,000
3,996,400	383,100	383,100	383,100
200,000	200,000	200,000	200,000
25,000			
34,940			
10,594,640	10,594,640		

施設 勘定 (単位円)

施設		勘定	
入	出	入	出
1,404,000	2,757,700	2,757,700	2,757,700
649,000	10,000	10,000	10,000
3,000	72,000	72,000	72,000
650,000	26,000	26,000	26,000
1,000	11,300	11,300	11,300
170,000			
2,877,000	2,877,000		

昭和35年度中里村歳入歳出予算 (単位円)

歳入		歳出	
予算額	予算額	予算額	予算額
27,349,000	27,349,000	27,349,000	27,349,000
12,370,000	12,370,000	12,370,000	12,370,000
1,134,700	1,134,700	1,134,700	1,134,700
1,267,000	1,267,000	1,267,000	1,267,000
10,795,200	10,795,200	10,795,200	10,795,200
9,320,000	9,320,000	9,320,000	9,320,000
200,000	200,000	200,000	200,000
5,600,000	5,600,000	5,600,000	5,600,000
67,900,000	67,900,000	67,900,000	67,900,000

歳入 別 (単位円)

税収	27,349,000
雑収入	12,370,000
交付金	1,134,700
補助金	1,267,000
手数料	10,795,200
雑収入	9,320,000
雑収入	200,000
雑収入	5,600,000
雑収入	67,900,000

歳出 別 (単位円)

職員給与	9,916,900
福利厚生	1,370,300
退職金	12,192,900
雑費	29,354,400
雑費	163,700
雑費	144,200
雑費	1,802,000
雑費	2,884,200
雑費	21,900,000
雑費	67,900,000

付税の五十二万二千円増、災害復旧関係費支出金二百八十九万三千円、村道開きく災害復旧のための村債五百六十万円を起す等、例年になく才入見込が細かく計画されている。

◇才入の部◇

▽議会費 議員数が減つたが、議会事務局を設置することに三十万円の増。

▽消防費 自動車ポンプを一台追加購入する予定を以つて九十万円を計上している。

▽土木費 田沢、芋沢、倉俣の開拓路線の補修と、国道の山崎地区を二百米の舗装、継続事業として、へつりの雪中除道三十米、釜川橋修繕二十一万円、白羽毛あざみ沢橋三十九万円があげられているが、全般として四十万円の減である

▽教育費 本年にくらべ四

百五十一万円の増となつて、田沢小学校及び土倉校の給食関係費、学校統合による経費、育英資金負担金の増によるもので、ここには高道山地区及び小出の中学校生徒をバスで、田沢中学校に通学させるための経費四十一万円と、その寄宿設備費五十二万円が、計上されている。

▽社会及び労働施設費 新たに国民年金事務費十九万一千円が計上され、二十万一千円の増である。

▽保健衛生費 村民の生活の改善と、健康増進をはかるため健民費として四万一千円が計上されている。

▽産業経済費 国土調査費として百六十一万八千円は新規のもの、いよいよ来年度より本格的調査に入る態勢を整え、苗代消毒、いも共同防除、二化螟虫防除、野を駆除に六十三万円、倉俣頭首工、芋川新田水路、牧畑水路、干溝耕地、干溝水路の災害復旧に五百七十九万円、商業振興費として補助金十二万円、育成資金貸与金八百四十万四千円、開拓地振興事業費補助十八万円等で百五十四万四千円の増である。

▽財産費 財政調査積立金として本年に引き続き、三百万円を積立をする。

▽統計費 本年は国勢調査の年に当るので、その事務費、九万四千円。

▽選挙費 農業委員の改選が行なわれるので、その事務費九万三千円を計上している。

△公債費 償還費元利合せで百八十万二千円で、本年より四十三万三千円増これは主として学校建築の負債償還金である。

△諸支出金 上越西線、清津川総合開発、貝野診療所分館金等合わせて百九万四千円、繰出金として国保事業勘定に二十万円、施設勘定に六十五万円、対外運動の重点目標とする清津川総合開発には三十万円を計上してかまえた。又、町村合併費として十五万九千円をあげ、促進を図る態勢をとっている。

(特別会計については、紙面の都合上省略)

田沢中高山分校廃止 清津峡小学校発足

四月一日から教育委員会では、かねてから町村合併により、行政区域が変更された今日、以前の町村毎に設置されていた学校も、学区も再検討しなければならぬこととなり、特に本村は、近隣市町村に比し財政規模の面から学校の数が多く、しかも適性規模の学校は一校もなく、これでは立派な教育は期し難い。又予算がこれらのどの市町村よりも多い割合に、直

林業事業について

一、伐採届又は許可申請の履行について

(1) 届けをして伐採出来る樹種樹令は、伐採時の六〇日前までに、左の各項に達していなければならぬ。

(イ) 杉 五十一年以上

(ロ) から松 三十六年以上

(ハ) 広葉樹(雑木)樹令を問わない、但し制限林(保安林)を除く

(ニ) 許可申請を要するものは左の樹種樹令のものを云う。

(イ) 杉 五十年以下

(ロ) から松 三十五年以下

(ハ) 制限林(保安林、その他針葉樹)は樹種を問わない

(イ) 造林計画(造林計画提出の通り)

(ロ) 造林補助金対象は次の通り

(イ) 造林事業について

(1) 造林補助金(森法第二〇九条による)

(2) 許可を要するもの

三万円以下の罰金(森法第二〇六条による)

は、春植四月、秋植八月(年二回)にあるもの。

(ロ) 植栽面積一畝地五畝以上

(ハ) 植栽面積四畝以下、一畝までは、村単独補助を考慮中。

(イ) 苗木は必ず(特に自家生産)検査済みのもの。

(ロ) 苗木購入は必ず役場経由(不良苗木を防ぐため)

(ニ) 造林補助金対象外は次の通り

(イ) 森林であつて伐採届、許可申請のないもの。

(ロ) 以下「(イ)」に該当しないもの。

(イ) 造林種類区分左の通り

(ロ) 再造林とは、前杉、又は松林の伐採跡地。

(ハ) 拡大造林とは、前雑木、又は原野跡地。

(ニ) 階段造林とは、傾斜度おおむね二十度から三十六度に設けられた造林。

特に当村は傾斜地造林が多いこと、階段造林は高率補助でもあり、成長率も高いのでお奨め致します。

(産業経済係)

働きながら高校教育を

十高田沢分校で第二次生徒募集

県立十日町高校では、勤労青少年の教育の場として知られている。定時制課程田沢分校の第二次生徒募集をおこなつていきます。

近年、青少年教育がだんと重視されてきているが、学校では充実した内容を備えて勤労青少年に呼びかけています。

なご募集要項は次の通り

一、募集人員四十五名(二次募集を含む)

二、応募切期四月四日

三、試験期日及び場所 四月五日於田沢分校

四、発表期四月六日

◎応募手続きは出身中学校へお問合せ下さい。

中学を卒業したら

田沢中学三年 小巻沢 潤三

ぼくの将来をどうするかを、真剣に考えはじめたのが、十月十日の田畑りの最中である。流れくる汗を拭いて、あと六カ月の中学生活とその先きのことを話し合う。しばらくすると父は家に帰つた。一時間位たつた時帰つてきて、「家に行つてみる」という。

「何だろ、ぼくのこと決つたのか」と、あれこれ想像をめぐらして家に駆けついでいくと、やつぱりそうだった。三時間ばかり話し合った末、東京の個人の皆さんのところに就職すること



卒業生に訓戒を書き贈る

田沢中学校長は卒業生個々の求めに応じ卒業記念写真の裏に社会に出てあるいは進学しての訓戒を書き贈つた

こんな気持の連続であつた二学期も過ぎて、三学期に入ると、本格的に就職したらどういふ勉強の仕方をしようか、職場ではどんな心構えが必要か考えた。夕食のひととき父母からいろいろきかされる。結論を言えば「誠実」である。学校では職業の時間に「新しい道」という本を読んだり、大切な部分をメモしたり、自分の考え方の相違について検討したりした。この「新しい道」という本は、就職後一カ年位の人達の書いた

作又で、現在の職場に対する不満やその理由、学校生活と社会生活の矛盾等が、わかりやすく書いてあり、参考になつた。苦しい事もあるだろう、ホームシックにかゝる事もあるだろう。しかしそれを乗り越える強力な意志と忍耐力を持ち正義の道に進みたいと思ふ。十年間のうちに二級建築士の資格をとることを目標としたら、社会の一員として、下積みの一員であるが、その場になくはならない人間になるよう、頑張るつもりである。